

# WORLD THOROUGHBRED RANKINGS

The official listing of the top horses in the world  
(covering the period 1<sup>st</sup> April to 16<sup>th</sup> October 2011)

World Thoroughbred Rankings			
Leading Horses			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	Frankel (GB)	135	GB
2	Black Caviar (AUS)	128	AUS
2	Cirrus Des Aigles (FR)	128	FR
2	Danedream (GER)	128	GER
5	Canford Cliffs (IRE)	127	GB
5	Nathaniel (IRE)	127	GB
5	Rewilding (GB)	127	GB
8	Dream Ahead (USA)	126	GB
8	Excelebration (IRE)	126	GB
8	So You Think (NZ)	126	IRE

無敗のフランケル【135】が先週末のクイーンエリザベス 世ステークス (G1) を快勝し、今回発表の世界サラブレッドランキングのトップの座を維持している。この夏にはサセックスステークス (G1) を完勝し、すでにこのレーティングを得ていたが、今回もエクセブレイション【126】やイモータルヴァース【121】相手に危なげなく完勝し、その評価が正しいことを証明した。

第 1 回英チャンピオンズデイからは、衰え知らずのシリウスデゼーグル【128】が英チャンピオンステークス (G1) でソーユーシンク【126】やスノーフェアリー【122】を破り、ここまでで最も高い評価を得るとともに、さらなる進境を見せた。

ソーユーシンクとスノーフェアリーは凱旋門賞 (G1) では入着を果たしたものの、同競走では独調教馬のデインドリーム【128】に完敗している。デインドリームは凱旋門賞の勝利により、同じ 3 歳牝馬として 2008 年にこの競走を制したザルカヴァと同等の評価を得た。

今回のランキングでは、デインドリームが、ここまで圧倒的なパフォーマンスを見せてきた豪調教馬ブラックキャビア【128】と共に牝馬部門のトップで並んでいる。ブラックキャビアは、前回の発表では 130 ポンドで記載されていたが、今回は TJ スミスステークス (G1) のパフォーマンスにより 128 ポンドでランクインしてきている。

同馬は冬場の休養から復帰、スキラッチステークス（G2）を快勝し、健在振りをアピールした。また、オーストラリアからはマニカトステークス（G1）とコーフィールドスプリント（G2）を完勝した、3歳馬**セポイ【123】**が新たにランクインした。デインドリームの他に凱旋門賞の週からは、英調教3歳馬で2010年にフランケルと並んで2歳チャンピオンだった**ドリームアヘッド【126】**が、フォレ賞（G1）で仏調教馬**ゴルディコヴァ【124】**を降しランクインしている。

北米ではブリーダーズカップを目指す馬達がそれぞれにステップ競走を経て、来るべき本番に備えている。その中でも2010年の米2歳チャンピオンの**アングルモーター【121】**はケルソハンデ（G2）を快勝し、見事な復活を遂げるとともにブリーダーズカップクラシックへ向けて順調な滑り出しを見せた。この競走にはベルデーム招待ステークス（G1）で圧勝劇を演じた**ハヴルデグレイス【120】**も出走を予定している。